

緑寿苑だより

4月

少し寒い日もありますが、春らしくなってきました。色とりどりの花が咲き、冬眠する動物や虫も活動を始めます。我々も外に出たり活動的になりたいと思う時期でもあります。レクリエーションではお花見をします。楽しみにしててください。リハビリにも精を出し、健康管理をしていきましょう。体を動かすと、セロトニンという物質が出るらしく、それは、気持ちも前向きにさせてくれるらしいです。冬の間体と心が凝り固まってしまった方は今がチャンスです！



学習療法



当苑では利用者様に、学習療法を行っています。内容は、読み、書き、計算などです。学習療法が一通り終わると、世間話ではありますが、利用者様が笑顔で楽しめるような話題を提供させていただき、コミュニケーションを計っています。

学習療法と言いましても、解くのが難しいものではなく、利用者様にあった難易度で対応させていただいています。

少し前、学習療法の勉強会がありまして、学習療法の、驚くべき効果を色々教えてもらいました。たとえ簡易な計算をしたとしても、計算をするということ自体脳の血流がよくなり、記憶力の向上が見込まれ、継続して行うことにより、身体活動にも良い影響を与えるとのことでした。問題をパーフェクトに解く事がねらいではなく、考えて答えを出すその行為が既に脳に良い影響を与えるということでした。素晴らしいと思いませんか。私自身も、時期が来たら学習療法をしたいと思っています。

学習療法に限らずこれからも利用者様のためになることを考えて色々な取り組みをしていきたいと思っています。



パタカラ体操



緑寿苑の利用者様は、昼食前に、日々、パタカラ体操という口の体操を行っております。パ・パ・パ・パ・パ・タ・タ・タ・タ・タ・カ・カ・カ・カ・カ・ラ・ラ・ラ・ラ・ラ、と発声することによってよく唾液が分泌され、飲み込む力も向上するとのことでした。

その他、パ・タ・カ・ラのつく言葉を考えたりするなど、頭の体操もしています。いずれも、利用者様は楽しんでおられ、充実した昼食のひと時を過ごしておられます。



アニマルセラピー



アニマルセラピーを皆様はご存知でしょうか？
緑寿苑だよりでも何度かご紹介させて頂きましたが、今回はすこしだけ詳しく説明させていただきます。

アニマルセラピーとは、動物とふれあいがきっかけとなって生まれる効果を、人の病気治療や心身の回復、また、社会復帰に活用することを意味しています。

効果として色々ありますが、認知症の方には、孤独や孤立感をやわらげたり、過去の記憶を呼び覚ます、コミュニケーションを促す、気持ちをリラックスさせる効果があるといわれています。

行事案内

喫茶活動 2階(毎週木曜日開催)

3階(毎週火曜日開催)

老人保健施設 緑寿苑 〒675-0101 加古川市平岡町新在家1197-3

[TEL] 079-425-2270 [FAX] 079-424-3134

[TEL] 079-425-2672

居宅介護支援事業所

[TEL] 079-424-3214

平成 26年 4月